

政治を変える確かな推進力 田中あきら候補が全力！！

三川町 町議選

任期満了に伴う三川町議選（定数10）が31日告示され、日本共産党公認の田中あきら候補（61・1期）が立候補しました（2月5日投票）。

田中あきら候補は、「暮らしが大変、政治を変えたい、この町民の思いにしっかりとこたえます」と力強く訴えました。



学校給食の無料化

31日の告示第一声で田中あきら候補は、「町民のみなさんの福祉、暮らし、教育の願いを町政に届けてきた」と話し、3年連続で福祉灯油の実現、学童保育所の実現など公約が実現できたと報告しました。

- 公約として、
 - ・ 学校給食の無料化
 - ・ 子どもの医療費を高校卒業まで無料化
 - ・ 国保税、介護保険料の引き下げ

年金でも入れる介護施設の増設

・ 年金でも入れる介護施設を増設
・ デマンドタクシーを土、日、祝日も利用できるようにーなどを掲げています。

野党共闘の推進力

日本共産党が第27回

水道漏水で料金跳ね上がった

先日、日吉町のひとり暮らしの女性高齢者から相談があり、加藤鉦一市議が対応。「水道料金が毎月の検針では

私の昭和 58

鈴木重雄（89歳・八色木）

本所事務所建設

旧藤島農協は産業組合運動が盛んな全国有数の模範組合であったので、事務所も鉄筋コンクリート2階建ての立派な事務所であったが、本所事務所を収容するスペースがなかった。（新事務所竣工後スパー店舗に改装）

昭和44年第1次合併と同時に藤島駅前に鉄筋コンクリート3階建て432坪（1400平方尺）、建築費7500万円で、石川設計事務所、鶴岡建設が請け負い、同年9月着工し、翌年本所業務を開始している。
地盤が弱くPLパイプ240本を打設した。

現在庄内たがわ農協本所である。

やがて東栄農協が合併しこの事務所も狭くなり、本所事務所前の資材倉庫下屋（旧鶴岡米穀KK所有の渡前倉庫）に営農部農産課、畜産課、資材課が移った。

倉庫の庇があるから細長く、遠くの職員がかすんで見えるようであった。

南向きの事務所に46名が在籍し汗を流しながら働いていた。私のお世話になった事務所である。

職員は農家組合員も汗をかき作業に励んでいるのと同じ思いでした。

党大会で「野党連合政権をめざす」と決めた後の、党鶴岡地区での初の選挙戦です。
三川町の町民は参院選でも野党統一候補の舟山康江氏の当選に大きく貢献しました。

その推進力になってきた日本共産党議員の当選でこそ野党共闘も進み、政治を変えることができそうです。
選挙戦は定数10に有力11人が立候補し、少数激戦です。

した記憶はないのに、市から払ってもらわなければならないと強く言われた」とのことです。

加藤鉦一市議が水道部の業務係に質すと、「本人の不注意での漏水は全額自己負担となる」とのこと。

加藤市議は「生活保護で食費が2週間分にも相当する額を、漏水の原因が特定できないのに徴収するの」と強く質しました。

その後、水道部で調べた結果、止水栓の開閉が中途状態で水漏れしていたとのこと。

原因がわかり、漏水分は減免され1300円程度の負担増ですみ、本人から「助かった」と喜ばれました。

中国武術・太極拳で 柔らかなく優雅な動きを 学び、健康に!

新町 齋藤留治

今、健康な体作りのひとつとして中国武術・太極拳が世界的に人気になってきているようだ。中国に行った事のある方なら、公園や空き地で人々がゆつたりと体操をしている光景を一度や二度、目にしていないのではないかと思います。私も中国の街の中で目にしたが、その時は太極拳とは「ただの体操」位にしか思っていなかったのですが、「中国の人達は朝出勤前なのによく時間をとれるし、(中国の人達は朝食を路上の屋台などで食べる人が多く作る手間が不要) それにあんなにゆつくりと動かし健康作りが効果があるのか。」と疑問に感じながら見ていたものだった。

その後中国の地を踏む事は久しく無く、太極拳とは縁遠い生活をしてきたが、数年前、ある登山ガイドと話す機会があり、その時「最近めっきり斜面を登るのが厳しくなってきた」と話をしたところ、ガイドから「それは体が硬くなってきたからで、歩くだけでなく何か柔軟になる事をやってみたら」というアドバイスを受けた。

そのアドバイスを受けて一念発起を思い付いたのが、藤島体育館で毎週土曜日にサークル活動として人気

のに四苦八苦。ひとつひとつ覚えていく楽しみに加えて、ほんの数ミリ身体が柔らかくなっているような感じがする。

が有る「太極拳」(このサークルは藤島在住のK保健師さんのお蔭で今では藤島に定着している。藤島にはもう一つ太極拳教室がある)。

現在、私は事情があつて藤島ではなく鶴岡教室(日中友好協会鶴岡支部太極拳委員会主催・場所はほぼ小真木原体育館)で習っているが、内容はかなり長い時間をかけての柔軟体操に始まり、その後それぞれの技量に合わせた練習となつている。ものすごい数の套路(型)があるので覚える

本には太極拳練習の目的は「ゆつくりとしたりズミカルな動きで気を養い、身体にエネルギーを取り入れて健康維持」と書いてある。

何よりも気長に、コツコツと練習を、という事かもしれない。機会があつたら太極拳をやってみたいと何となく思っている方、「悪の話術」とも形容されているトランプやそれに似通っているアベ晋三のチャットよりフレッシュになると思います。

日本国憲法に「男女平等」を書き込んだアメリカ女性

―あらためて憲法を学ぶ― 青山崇

その女性はベアテ・シロタ・ゴードンです。20年ほど前『1945年のクリスマス』を出版、副題に「日本国憲法に〈男女平等〉を書いた女性の自伝」とあります。少女の頃、在日日本通で日本語堪能なこともあつて、ア

メリカ日本国憲法草案作成スタッフ(25人)として人権を担当、「男女平等」をはじめ女性の権利を明記することに尽力しました。無権利な日本女性の悲惨さを知っていただけに「女性が幸せにならなければ、日本は平和になら

ない」という信念を持つていたという。

憲法第24条の下敷きとなつた草案(部分)は次のようでした。第18条 家庭は、人類社会の基礎であり、国全体に浸透する。：婚姻と家庭とは、両性が法律的にも社会的にも平等であることは当然である。：これらの原理に反する法律は廃止され、それにかわつて配偶者の選択、財産権、相続、住居の選択、離婚並びに婚姻及び家庭に関する

るその他の事項を、個人の尊厳と両性の本質的平等の見地に立つて定める法律が制定されるべきである。側線部分は同条2項としてほぼ採用されています。現行の1項に当たる前半は、複雑として精神を汲み取り「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならぬ。」と簡潔にしました。(つづく)



介護保険の改悪

雪のない穏やかな新年を迎えたんですが、ドタ雪があつて寒鰯が美味しくなつたこの季節、恒例による町内会老人クラブの鰯汁会が開かれた。

▲これも恒例なんですが、協立病院の講師による学習会が持たれた。今回は、3年ごとに悪くなつていく介護保険制度がどう変わるのかを教えてもらった。

▲今回は、特別養護老人ホームへの入所が必要介護3以上に限定され、要介護1と2の人は特別養護老人ホームを利用できなくなる・従つて利用していた人は追い出されることになるという改悪なんだと。▲これを聞き期せずして「サギたぜー」の声。こうして改悪なることから「通所介護・訪問介護」の要支援者も介護保険利用者から追い

出すことになり、これを行政が新たに「総合事業」という名で実施することになるんだぞうな。「ベッド」を国から取り上げられたということが何年前前にあつたが又たぜ。

▲制度から追い出された者を地域でなんとかしてヨ・と集落で行っているサロンなどでも引き受けてほしいというのが国の思い。しかし、週3回以上の実施を言いながら、十分なお金を出さない(今の7割から引き受ける事業者や団体等が出てこない状況だという)。

▲首相は、「介護難民をなくする」ナンテと言つてきたが、これでは介護疲れでまたまた事件が起きるんじゃないですか。毎回保険料は高くなつていくし、利用者の負担金も大きくなつていく。次の3年後の改悪も予定されているらしい。こんな政府は変えなくっちゃ。(石川)



2016年6月文庫化・朝日文庫・929円(税込)